

平成30年度職業訓練指導員研修実施方針

各研修の実施方針

1 階層別研修

新任若しくは採用後一定期間を経過した指導員及び新任の訓練課長等のリーダーなど一定の階層の指導員を対象として、職業能力開発の基礎、訓練業務のフォローアップ及びリーダーに必要なマネジメントのスキルを習得します。

2 一般研修

多様化する職業能力開発業務を遂行する上で発生する課題等の解決のヒントや必要となる知識・スキルを講義や演習等を通して習得します。

3 訓練技法開発研修

職業能力開発ニーズの多様化・高度化が進展する中、職業訓練を効果的かつ効率的に実施するための訓練技法や教材開発に関する知識及び技能を習得します。

4 技能・技術実践研修

指導員の専門分野かつ専門分野を含む複合・横断的な領域における知識及び技能・技術の向上を図るとともに、その専門分野を効果的に展開する方法等を習得します。

5 テーマ別研修

専門分野に係る知識及び技能・技術の更なる習得あるいは専門領域の拡大を目指し、教材開発等の研修テーマを職業大の指導教授等と協議のうえ設定し、自らが主体的に研修を実施します。

6 実践派遣研修

多様化・高度化する職業能力開発ニーズに対応するため、指導員を企業、研究所、大学等に派遣し、企業では、コスト意識・経営的なものの見方やその実践を学び、また、研究所、大学等では、高度な技術や最先端の専門知識等を習得します。

7 オーダーメイド（出前）型研修

各都道府県等における研修受講機会の充実を図ることを目的として、都道府県等からの要請に基づき、講師を派遣して現地施設にて研修を実施します。

平成30年度の研修コース設定の特徴

研修会場は受講機会の拡大を図るため、中核都市に「出前型訓練開催希望調査」を行い、その結果に基づき地域ブロックの中核施設等を活用した研修を展開しています。

昨年まで新任研修の区分として実施していた新任指導員、採用後5年程度の中堅指導員、熟練指導員及び新任の訓練課長を対象とした研修コースを階層別研修として区分し、育成の段階を意識した受講ができるようにしました。

一般研修においては、近年話題になっているストレス対処やストレスマネジメントに関する研修コースを新たに設定しています。また、訓練の計画・実施・管理、施設運営サポート、地域社会との連携などにおける課題解決に対応したコースのリニューアル等を行っています。

技能・技術実践研修では、受講ニーズの高い鉄筋・コンクリートや型枠などの新たな研修コースを設定するとともに、全ての専門分野において「セット受講推奨」コースのような受講者が柔軟に受講できる環境を拡充しています。また、IoT やロボット関連の研修コースなど新規成長分野に対応したコースも新たに設定しています。

都道府県等からの要請に基づき、現地施設に講師を派遣して実施するオーダーメイド（出前）型研修については、「個人情報保護と情報セキュリティ」などの新たな研修コースを設定するとともに、「就職支援・キャリア関係コース」の体系の拡充を行っています。また、平成29年度に引き続き、研修マップ（P370 参照）等に基づき、受講者の確保が困難な場合の弾力的運用や委託訓練等の質の向上に向けた委託訓練実施機関を対象としたコース設定やメール等の通信の方法を活用し、受講者ごとに個別課題を設定することにより、集合研修を1日6時間で実施する通信活用研修の実施など、ご要望に沿った研修の実施に向けて、受講しやすい環境と研修内容の充実等体制整備を図って参ります。